



Subaru

男声合唱団



ニュース No.217

'10.01.16

檀指揮者のうたをレッスン・・・1月15日(金)・・・

□ 今日は、奥村さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで10周年曲のうち檀先生が指揮する曲をみっちりレッスンしました。団員出席は32名。

□ レッスン曲と一口メモ

「鶴」;ヴォイストレーニングも含めて、3連符1拍の取り方をみっちりレッスンしました、が、我がものにするのはもう一歩というところ。しっかり身につけてスマートに歌いたいですね。

28~36までを新譜で歌いました。この方が良いという意見が多いので、以後、新譜で歌います。

(T1-A と Bs のみ前の楽譜と変わり、他のパートは前の楽譜と同じ。)

「鶯」;14「きたよ はるがきた」・・・あまり跳ねないで情感をこめて。

「シルクロード」;33「いくとせぞ」の「と」が張り切りすぎ、「細くうたう。

「UNCHAINED MELODY」;英語の発音らしく治していきましょう。今日は、the(ザ、ズィ、舌先が歯のところがったところにさわる)と、L(舌先が歯の裏)と、R(巻き舌=舌は歯にも上あごにもさわりません)に注意しました。この順で舌先が奥にいきます。

□10周年チケットの当日清算(岡邑さんから再度)

すでにチケットを送付した人にも、あらためて、**当日清算用の封筒**を送付し、当日、受付にその封筒に**お釣りのないお金**をいれて提出してもらうよう、**各自徹底してください**。毎回当日清算に長い列ができ、受付が大変な苦勞(封筒にチケット扱いの団員の名前、当人の名前、チケットの枚数・金額を記入したり、お釣りをだしたり・・・どうしても受付に長い列ができます)をしています、今回は特に人数が多いので、ぜひ!必ず!

□阪神淡路大震災から早くも15年。「TERRA」の「めぐる春にコンサート」がゆかりの深い「六甲幼稚園」で1月17日(日)に開催されます。当日は「昴」の定例レッスン日で、参加できませんが、ぜひ、ご家族や友人に勧めてください。(次頁に紹介)



「光と風のカフェテラス」の練習会場にもなった「TERRA」ゆかりの、「六甲幼稚園」

15年目のめぐる春に未来を誓い合って！！

合唱団 TERRA 代表 檀 美知生

ディレクター 村嶋由紀子

阪神淡路大震災からの15年間は、私たちに歌の心と活動の意味をより鮮明に教えてくれた月日でした。思い返せばいつでもあのガレキの街を歩いた時の思いが蘇り、胸が詰まるのです。一瞬にして多くの命と私たちの街を奪った理不尽さへの怒りと、同時に元の姿の街を取り戻していこうとする情熱がそこにありました。そこに何かを猛然と求めて行動するTERRAの姿が存在したのです。大震災直後の、歌どころではなかった時期から〈練習再開〉のため西に東に場所を探して2～3時間かかってもかけつけていく行動がありました。さらにまだガレキ撤去もなされていない4月には、全団員の再会を果たすべく小さなコンサートを開いたのです。命があることを確かめ合った涙、涙のその公演を忘れることができません。その時の歌声はどこまでも明るく、生きる希望を求めたものであったことも強く心に残りました。その思い出の公演会場こそこの六甲幼稚園だったのです。

そして今に続くTERRAの歌声と活動は、あの日々の中で確実に変化したといえるのです。いつの日も弱い立場の人たちのために明日への勇気を与えるという音楽・芸術観を確立させてくれたのです。

一方、それは私たちの仕事や生き方へも大きな変化をもたらしました。特に村嶋は学校教師として震災の心の傷を負った生徒のケアを行う〈教育復興担当（のちに心のケア）〉となり、直接、震災に触れての学校教育を行うことになりました。今日の作文朗読の谷口小百合さんはその中で最も強いつながりで震災の傷を共に越えてきた教え子です。そうした子どもたちの悲しみや喜びを共有、情感を高める中で組曲「めぐる春に」の詩が誕生したのです。

今日のコンサートは、私たちが必死で駆け抜け、大切なことを教えてくれた日々感謝し、これからの私たちのあり方を指し示すものとしたと思います。そして協力くださるは、前述の谷口さん、地域の活性化のため尽力された久語孝雄さん、そして震災を知らない世代の「神戸少年少女合唱団アリス」の皆さんも、さらには会場の皆様です。きっと皆様もこの15年間を必死にがんばり続けられた方々だと思うのです。そんな皆様に現実の不況の昨今に行き詰まりを感じての日々、それを打ち破り明日に向うための勇気を与えるコンサートになりますことを心から願って、思いっきり元気な演奏で向いたいと思います。

なおNHKで私たちを取り上げてくれ、本日そのテレビカメラが入ることをご了承ください。1月20日(水)NHK報道番組「兵庫のニュース」18:00～19:00の中にて、3～4分放映予定だそうです。それでは本日は皆様もご一緒に参加されて、最後までごゆっくりお楽しみください！！

2010年1月17日